

提案型事業 子どもの力で川崎の未来をかえるプロジェクト —世界こども地域合衆国サミット— 開催結果

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト

子どもたちが地域の産業や文化に触れ、自らのアイデアでエコでクリーンなまちづくりを実現する場を提供することなどにより、子どもたちの主体性とリーダーシップを育成し、持続可能な社会の実現を目指します。

●取組概要

イベント名	日時	場所	事業内容
① こどものまち仕事体験イベント (ミニたまゆり※)	11月16日(土)・17(日) 10:00~16:00	田園調布 学園大学	子どもたちが地域産業や文化を体験できる場や主体的にまちづくりに参加する場を提供する
② 共創子ども会議	6月~11月まで 全6回開催		市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント(ミニたまゆり)」の準備をする子どもたちによる会議。 こども-大学生-企業・団体の3者が連携して仕事体験の内容等を検討
③ 世界こどもx地域合衆国サミット	11月17日(日) 13:00~15:00		ドイツ、ウクライナ、日本全国の子どもの代表を集めた国際会議を開催
④ メタバースxリアル謎解きツアー	メタバース=7月~12月 リアル=7月27日~8月31日	メタバース空間 7区の公園等	川崎に因んだ「謎解きツアー」をメタバースxリアルで開催

●提案・共創事業者

田園調布学園大学、一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団、NPO法人ミニシティ・プラス、CHEERS株式会社、一般社団法人SDGs Innovation HUB、一般社団法人CePiCみんなの地球公園国際コミュニティー

※ミニたまゆり

ドイツのミニ・ミュンヘン子どものまちを参考にした子どもたちのためのイベント。平成17(2005)年から田園調布学園大学が中心となり開催。田園調布学園大学の最寄り駅のたまプラーザ駅・百合ヶ丘駅にちなんで命名。

こどものまち ミニたまゆり

●開催結果

日 時：令和6年11月16日（土）・17日（日）10時00分～16時00分

場 所：田園調布学園大学キャンパス

対 象：5歳～15歳及び保護者

来場者数：約1,300人（内訳：11/16 約500人、11/17 約800人）

出店企業・団体数：24団体（うち実行委員会参画団体は5団体）

仕事体験内容：銀行、宅急便、テレビ局、ユーチューバー、食品サンプルづくり、宅急便など



世界こども×地域合衆国サミット

●開催結果

目的：日本全国のこどものまちのリーダーと「こどものまち」の取組が、実際の社会とどのようにつながっていくか、未来を創るためにどんなことができるか等について、意見交換を行う。

日時：令和6年11月17日（日）13時00分～15時00分

場所：田園調布学園大学 221教室

参加者：約20名

（こども） ミニたまゆりこども市長、ミニミュンヘンこども市長、ミニカワサキこども市長、ミニヨコハマシティこども市長、ミニいちかわこども市長、ミニ☆いちかわこども市長、MiniMi～noこども市長、こども四日市 こども市長、かさまつ横丁こども市長、わかばCBT ほか

（大人） 川崎市副市長、笠衆議院議員 ほか

来場者：約300名（こどものまち参加者及びオンラインを含む）

内容：

- ・ ドイツのこどものまちについて
- ・ 川崎のこどもの権利に関する取組
- ・ 第1回世界こども地域×合衆国サミットの未来共創声明について
- ・ 各地域の子ども代表による宣言
- ・ こどものまち未来共創声明の発表
- ・ ウクライナのこども、ドイツのこども、大人代表からのコメント
- ・ ミニたまゆり・ミニミュンヘン姉妹都市提携調印式

※8月22日（木）に事前会議として国会議事堂にて子ども国会を開催



共創こども会議

●目的

こども-大学生-企業・団体の3者が連携して、市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント（ミニたまゆり）」の内容等を検討する。

●開催結果

日程	内容	参加者数
6/29(土)	仲間づくりゲーム、ミニたまゆりの説明、市長の仕事について 参加企業・団体の紹介、担当グループの決定	子ども 20名 大学生36名 企業等 2者
7/20(土)	子ども市長選挙、参加企業・団体担当者と子ども担当者の 顔合わせ 商品開発アイデア出しワークショップ など	子ども 23名 大学生37名 企業等 5者
8/3(土)	ミニたまゆりをSDGsに貢献する町にするには？ 新しい商品、サービスのアイデアを考えよう① など	子ども 23名 大学生51名 企業等 5者
8/21(水)	AIを使った新しい仕事について考えよう！ 新しい商品、サービスのアイデアを考えよう② など	子ども 18名 大学生53名 企業等10者
9/21(土)	仕事内容の決定、仕事のマニュアル作成 ワークショップ：素敵な店員になる方法を考えよう！など	子ども 14名 大学生47名 企業等 9者
10/26(土)	ミニたまゆりのリハーサル 子ども店長の仕事を練習しよう！ など	子ども 25名 大学生64名 企業等11者



メタバーズ×リアル謎解きツアー

●実施内容

目的：リアルとメタバーズ空間で展開される川崎市7区にまつわる謎解きを通じて、市の魅力や地域資源を知る機会とするとともにシビックプライドを醸成する。

日時：メタバーズ = 7/27 (土) ~ 12/31 (火)

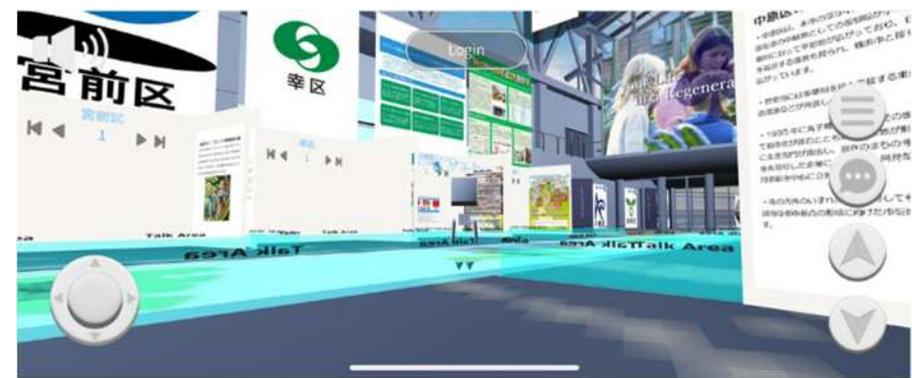
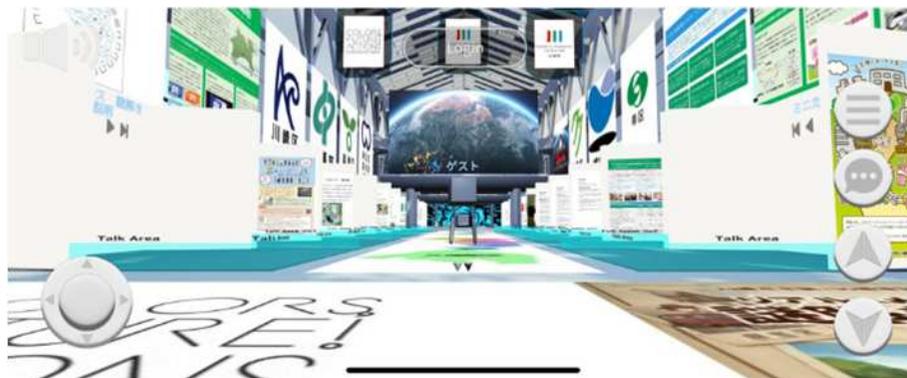
リアル会場 = 7/27 (土) ~ 8/31(土)

場所：メタバーズ空間

リアル会場 = 富士見公園、大師公園、夢見ヶ崎動物公園、小倉西プール、等々力緑地、
平間プール、橋公園、梶ヶ谷第1公園、鷺沼公園、宮崎第4公園、
生田緑地、稲田公園、緑化センター、王禅寺ふるさと公園、王禅寺四ツ田緑地

内容：謎解きツアーのメタバーズ空間内に設置された川崎市7区の各エリアに10問のなぞなぞを配置
各エリアの「なぞなぞ」10問全問正解者にはミニたまゆりで使用できるクーポン特典

参加人数：4,152 アクセス (11/20時点)



子どもの力で川崎の未来をかえるプロジェクト 総括

●全体を通じて

- ・実行委員会主催事業として多角的な広報を展開したことにより、認知度が高まり例年より多くの参加者を得ることができました。
- ・ミニたまゆりについては、実行委員会参画団体が仕事体験イベントに初出店することにより、市内にある様々な企業の認知を高めるとともに、自分が住んでいるまちへの理解と愛着が促進されました。
- ・世界地域×こども合衆国サミットのホストを務め、各地の「こどものまち」の取組と実際の社会とのつながり等について意見交換を行うとともに、川崎市の子どもの権利に係る取組が国内外に発信できました。

●今後に向けて

- ・100周年記念事業としての今年度の実施結果を踏まえ、今回の提案者である田園調布学園大学を中心に、「ミニたまゆり」と「こども共創会議」の継続実施、及び「世界地域×こども合衆国サミット」に構成員として参加し、子どもたちの地域への愛着や誇りを醸成するとともに、子どもたちの主体性とリーダーシップを育成し、持続可能な社会の実現を目指していきます。

